作品カード

作品名	創作絵本「ミドリガメのライとハク」など
使用する場面 目的	高等部　基礎（国語） 〇ストーリーを読み取る。 〇文章の内容に合わせた音読ができる。 高等部　生活（環境問題　「命」の大切さを考える。） 〇身近なところにある環境問題について知る。 〇生き物の「命」を大切にする気持ちを育てる。
使用方法	絵本を読む。あるいは読み聞かせる。（国語の学習として） 授業では、展示してある絵本をデジタル化した教材を用いました。 高等部3年の基礎・生活Ｅグループでは、2年生に引き続き、絵本を生徒各１台の iPad で読み進める授業を行いました。iPad 用の NAS（共有フォルダー）にアプリ「File Explorer」を使ってアクセスし、絵本（PDF）を読み進める方法です。また、絵と文のデータを、パワーポイントなどを使って取り込み、視覚教材として見せる方法も実践しました。 また平成 29 年度に星野は、地域実践協力員協議会での研究実践として、apple 社のコンテンツ「iTunesU」に特別支援教育の学習用教材を登録する試みを行いました。その中でオリジナル絵本の「ミドリガメのライとハク」「さくら公園のねこたち」の２作に教員の朗読をつけたデジタル絵本をアプリ「Book Creator」を用いて制作し、アプリ「iBooks」で読むことができるようにしました。このデジタル絵本は、本校の児童・生徒が使用している iPad で読むことができるようになっています。
作品の説明 製作にあたっての意図や工夫および効果など	文：星野英俊（本校）絵：青山恵子（横浜ひなたやま支援学校） 〈絵本の制作方法〉原画をスキャナで取り込み、MSWord で絵ページ、テキストページを作り、両面プリント用紙にプリントしました。それを丸善の絵本作成キットを使って、絵本として完成させたものです。 〈内容〉創作絵本「ミドリガメのライとハク」…縁日で、ある家族に買われた2匹のミドリガメは、ライとハクという名前を付けられ、大事に育てられる。しかし、引っ越しをきっかけに、ある時川に投げ捨てられてしまう。川ではよそ者としていじめられたライとハクは、体が大きくなり、逆に川の生き物たちに怖れられるようになる。美しいクリスマスのイルミネーションを眺めながら、2匹のカメは人間への思いを語り合う…。 「外来生物には罪はなく、悪いのは人間の行いである」ということをわかりやすくこどもたちに伝えたいと考え、外来生物の側に立った物語を作りました。